

令和6年度事業報告書

(R 6.4.1～R 7.3.31)

事業名	実施事項	実施時期等	実施内容
相談活動の推進	電話相談等	年間 (1,461件)	電話相談及びメール相談に対しては、相談員及び支援員の相談対応能力の向上を図りながら適切に実施した。(内：メール相談90件)
	面接相談	年間 (115件)	面接相談に対しては対応する相談員等の相談対応技能の向上を図りながら、相談者に配意しながら適切に実施した。
	専門相談	年間 (26件)	委嘱した弁護士や臨床心理士による無料相談を実施した。(上記1,576件の内数)
直接的支援活動の推進	付添い支援 日常生活への支援	年間 (146件)	被害者等の要請に基づき、相談員、直接支援員等による付添い支援、裁判の代理傍聴等を行い、精神的負担の軽減を図った。(警察36件、裁判所8件、検察庁12件、弁護士法律相談・病院等付添71件、自宅訪問4件、物品の供与・貸与3件、宿泊施設提供0件、生活支援1件、支援金等支給0件、その他11件)
間接的支援活動の推進	自助グループへの支援	年間 (8回)	被害者遺族同士で支え合う自助グループ「ゆるら」を、8月、1月、2月、3月を除き年間8回開催し、積極的な支援を行った。
	犯罪被害者給付金申請補助	年間 (2件)	被害者等の犯罪被害者給付金申請の際、その補助を行う支援を行った。
ボランティア支援員等の育成・養成	支援員継続研修	年間 (56回)	知識、電話対応、面接技術等の向上、相談員等のメンタルケアなどに関する研修を実施し、支援員の育成を図った。 (継続研修(事例検討)16回、初級研修(個別研修)35回、外部講師による支援員研修会2回、裁判傍聴研修0回、その他3回)
	支援員養成講座 (第16期生)	7月～2月 (10日間)	初回の基礎編を公開講座とし、以後ボランティア支援員候補者を対象に専門家等による被害者支援に関する講義、ロールプレイ等を実施した。 公開講座7/17、養成講座(前期4日、後期5日)計10日間
相談体制の充実	性犯罪・性暴力被害者支援専門家研修	年間 (2回)	山梨県からの委託事業「やまなし性暴力被害者サポートセンター」の業務の一環として、関係機関で性犯罪・性暴力被害者支援に携わる専門家を対象に、NPO法人千葉性暴力被害者支援センター理事、日本産婦人科学会産婦人科専門医・指導医の岡嶋祐子氏を講師にお招きして県立図書館で講演会を開催した。
	専門相談員の委嘱と緊密な連携	年間	相談業務の充実を図るため、専門相談員11人(精神科医2人、臨床心理士6人、産婦人科医2人、弁護士1人)を委嘱し、緊密な連携の下、必要な体制の整備に努めた。
	代理被害の防止	年間	支援員等の代理被害を防止するため、スーパーバイザー(臨床心理士)による研修を実施した。

広報・啓発調査 研究活動	機関誌発行	年2回	機関紙「あなたの思いやりを」第41号3,000部と第42号を4,000部作成し、会員や県民等へ配付して業務案内や活動状況を広報した。
	広報啓発資料・物品等の作成	年 間	<ul style="list-style-type: none"> ●広報資料作成 <ul style="list-style-type: none"> ・広報啓発用メモ帳 10,000冊作成 ・やまなし性暴力被害者サポーターセンターフレット 10,000部作成 ●チラシ <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度犯罪被害者支援講座基礎編 公開講座チラシ 1,000部作成 ・犯罪被害者支援講演会チラシ 3,000枚作成
	街頭活動	年 間	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪被害者支援の日」街頭キャンペーン (JR甲府駅南口、^デストリゾーツ) ●「県民の日」イベント会場での広報活動 (小瀬スポーツ公園) ●県警主催「令和6年度高校生絵画展」 (1/11~14:防災新館オーブソクシア) ●ミニ生命のメッセージ展共催 (11/18~22:総合交通センター) ●山梨県警察ふれあいコンサート (12/1:県民文化ホール)配布依頼
	ホームページ更新、講師派遣等	年 間	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ等の随時更新 ホームページやFacebookを随時更新し、タイムリーな情報発信に努めた。 ●新聞広告、他団体機関誌、広報誌への掲載 広告を地方新聞2紙に延べ51回掲載したほか、法人会員の機関紙等により、県民への周知を図った。 ●講師派遣 甲府刑務所、県下警察署犯罪被害者支援連絡協議会など各種関係機関や団体等からの要請に応じ、講師の派遣を延べ11回行い犯罪被害者等の現状及び支援活動の重要性・必要性について周知を図った。
	展示会、講演会、命の大切さを学ぶ授業等の開催	年 間	<ul style="list-style-type: none"> ●犯罪被害者支援週間山梨大会の共催 12月3日、県立図書館イベントスペースにおいて、「京都アニメーション」放火殺人事件の御遺族渡邊勇氏(兄)と渡邊達子氏(母)による講演会を企画開催した。 ●命の大切さを学ぶ授業 大学生・高校生・中学生を対象にした「命の大切さを学ぶ授業」を13校で開催した。 東海大学付属甲府高校、昭和町立押原中学校、都留市立都留第一中学校、巨摩高校、富士北陵高校、青洲高校、山梨学院大学、甲府東高校、松里中学校東桂中学校、甲府北西中学校、笛川中学校、甲府北中学校
調査研究活動	研究活動	年 間	全国規模、関東・甲信越ブロック規模の犯罪被害者支援に関する研修会、他の関係機関が開催する各種講座・講演会等へ積極的に参加し、被害者支援活動の現状・問題点、支援団体のあり方等について研究した。 (延べ32回 59日間 57人参加)